

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			身	社						
1 学期	クラフトバンド工芸 基本技術を習得する。	・ 用具の知識 ・ 基本技法（角底、3 本なわ編み、追いかけ編み、取っ手）を習得する。 ①角底の接着、編み込み ②丸底の編み込み ③差しヒモ ④ねじり編み ⑤3 本縄編み ⑦取っ手 ・ 自作図版資料を用いた端末での説明を取り入れる。	○			・ 各技法の理解度、習熟度、完成度。 ・ 創意工夫をして完成度を高めようとする意欲があるか。 ・ 根気よく製作に取り組む姿勢があるか。	○	○	○	24
2 学期	クラフトバンド工芸（応用） マルシェバッグを製作する	・ 1 学期に習得した基礎技法を製作に生かす。 ・ 完成度の高い作品をめざし、配色や編み方を工夫する。	○			・ 各技法の理解度、習熟度、完成度。 ・ 創意工夫をして完成度を高めようとする意欲があるか。 ・ 根気よく製作に取り組む姿勢があるか。	○	○	○	28
3 学期										18
		・ 完成した作品を鑑賞し合い、自信を持つ。		○	○	・ 作品の良いところを認め合い、自信を持つことができたか。			○	合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教 科： 芸術

科 目： 書道Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：大橋 ） （2組：大橋 ） （5組：大橋 ） （6組：大橋 ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 書Ⅱ（教育図書） ）

教科 芸術

の目標：

【知 識 ・ 技 能】日本と中国の文字の伝統と文化・書体の変遷を理解する。

【思考力・判断力・表現力】 古典の価値について考え、筆脈の感覚・書風の特徴を判断して筆者の個性を表現する。

【主体的に学習に取り組む態度】作品を鑑賞し、書の変遷に関心をもち、表現においても意欲的に取り組む。

科目 書道Ⅱ

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
・日本と中国の文字と書の伝統と文化・書体の変遷を理解する。 ・各書体特有の字形・線・質について理解する。	・古典の価値について考え、書のよさを味わう。 ・味わった美しさ・感性を豊かにし、作品の表現の違いを判断する。	・作品を鑑賞し、書の変遷や文化に関心をもち、表現において意欲的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	・書と文化 書の周辺の文化の歴史 ・漢字の書 篆書 「泰山刻石」	・書の歴史の全体の流れを理解する。 ・日常の書を意識する。 ・甲骨文、金文の特徴を理解する。 ・篆書の基本点画や線質の表し方を学ぶ。 ・始皇帝について知る。		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○	○	4
	・「石鼓文」 ・篆刻	・印の歴史と用途を理解する。 ・「印稿」を作る。 ・字典で文字を正確に調べる。 ・調べた字と全体の構成を工夫する。 ・「布字」 印面に印稿と同じように書く。 ・「連刀」「押印」「仕上げ」		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		6
	・隸書 「曹全碑」 「乙瑛碑」	・隸書の変遷を学ぶ。 ・隸書の基本点画が書ける。 ・のびのびとした八分になる。 ・飄々としながらも力強い線になるようにする。 ・漢、清の隸書と比較する。 ・厚みのある波磔を捉える。 ・字形は背勢で引き締まった字形にする。		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		4
	・「石門頌」 「居延漢簡」	・線の太さがほぼ一定で曲線が多い。 ・波勢のリズムによって細いまま払い出す。 ・筆鋒の開閉が自在で細太の変化を知る。 ・ゆったりとした波磔や表情のおおらかさを表す。		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		4
	・創作	・平切作品を制作する。 ・隸書の表現を生かす。 ・作品の形式について学ぶ。				○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数		○	○	6
2 学 期	・草書 「十七帖」 「書譜」	・草書の成立を理解する。 ・草書の基本的用筆、運筆を理解する。 ・単体で字を覚える。 ・字形は頭部を大きく、脚部を右に移動させてバランスを取る。 ・変化に富んだ線、格調の高さを理解する。 ・臨書や鑑賞に取り組む。 ・書論の内容を知る。		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		4
	・「自叙帖」 「風信帖」 （忽恵帖）	・狂草とも呼ばれる奔放な表現ができる。 ・日本の書について ・王羲之の流れを理解する。 ・三筆について理解する。		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○		○	4
	・行書 「集王聖教序」 「温泉銘」 「祭姪文稿」	・行書のさまざまな作品を鑑賞する。 ・行書の特徴を理解する。 ・行書の用筆、運筆を理解する。 ・表現方法に関心を持って、のびのびと抑揚のある線にする。 ・草稿であるために感情を汲み取る。 ・筆画に重厚で力強さを強調する。 ・鑑賞の学習に取り組み、表現できるように努力する。		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		6
	・「黄州寒食詩巻跋」 「伊都内親王願文」 「屏風土代」	・宋の四大家について知る。 ・本文の文字がもともと大きいので表現のしやすさが分かる。 ・三跡と比較して相違点を考える。 ・祈願状について知る。		○		○	提出作品の評価 授業態度 欠席時間数	○	○		6

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 芸術		科目 音楽Ⅱ		
教科：芸術	科目：音楽Ⅱ	単位数：2 単位		
対象学年組：第 1 学年	組～ 組			
教科担当者：（1組：清水真優）（2組：清水真優）（3組：清水真優）（4組：清水真優）（5組：清水真優）（6組：清水真優）				
使用教科書：（MOUSA 2		）		
教科 芸術	の目標：			
【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。				
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたる芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				

科目 音楽Ⅱ		の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	歌唱 「糸」	・「糸」を二部合唱する。 ・曲の背景や歌詞の意味を考え、表現を工夫する。	○			・授業態度 ・一人一台端末による振り返り ・振り返りシート ・実技試験		○	○	○	6
	鑑賞 「松任谷由実の音楽にふれよう」 「曲にタイトルをつけよう」	・音楽の諸要素を踏まえてその曲の良さや美しさを感じ取り、表現することができる。 ・音楽の諸要素を踏まえて自分の考えを表現することができる。				・授業態度 ・ワークシート ・振り返りシート		○	○	○	4
	器楽 ピアノ独奏	・右手・左手をそれぞれ練習し、旋律を覚える。 ・課題曲を両手で演奏する。 ・フレーズを意識し、旋律をつなげて演奏する。 ・ピアノ曲を鑑賞し、時代による作曲技法の違いやピアノの歴史を理解する。		○		・授業態度 ・一人一台端末による振り返り ・振り返りシート ・実技試験		○	○	○	12
	器楽 ボディーパーカッション	・グループで譜読みをする。 ・アンサンブルをして響きを感じ取る。		○		・授業態度 ・一人一台端末による振り返り ・振り返りシート ・実技試験		○	○	○	8
2 学 期	器楽 器楽合奏に挑戦しよう	・グループで譜読みをする。 ・アンサンブルをして響きを感じ取る。		○		・授業態度 ・一人一台端末による振り返り ・振り返りシート ・実技試験		○	○	○	20
	鑑賞 《和声と創意の試み》第1楽章〈四季〉から〈冬〉 《ブエノスアイレスの冬》	・同じタイトルの曲を聴き比べ、情景を思い浮かべる。 ・音楽の諸要素を踏まえて自分の考えを表現することができる。				・授業態度 ・ワークシート ・振り返りシート		○	○	○	4
3 学 期	歌唱 「歩いて帰ろう」 「SUN」	・曲の背景や歌詞の意味を考え、表現を工夫する。	○			・授業態度 ・一人一台端末による振り返り ・振り返りシート		○	○	○	8
	器楽 ギター弾き歌い：「島人ぬ宝」	・ギターのコードの読み方を理解する。 ・島人ぬ宝の旋律を歌う。 ・島人ぬ宝をギターで弾き歌いをする。		○		・授業態度 ・一人一台端末による振り返り ・振り返りシート ・実技試験		○	○	○	8
											合 計
											70

芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科 目： 美術Ⅱ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 3 組～ 6 組

教科担当者： 関谷美保子

使用教科書：（ 高校生の美術 2

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】美術の基礎的な知識・技能を身に付け、作品作りに取り組む。

【思考力、判断力、表現力等】画材にふさわしい表現で作品を作る。自ら思考・判断・表現することを目指す。

【学びに向かう力、人間性等】基礎的な課題に興味を持ち、応用課題においては主体的に学習に取り組む。

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①美術の基礎的な知識・技能を身に付け、作品作りに取り組む。②画材や道具の特性を理解し、作品制作に生かす。	①画材にふさわしい表現で作品を作る。②自ら思考・判断・表現することを目指す。	③基礎的な課題に興味を持ち、応用課題においては主体的に学習に取り組む。④工夫を凝らし、自分の表現を追求する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	透明水彩	透明水彩の基礎的な使い方・濃淡の 作り方・筆の使い方を学ぶ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	20
	校内または校外写生	透明水彩で学校内または屋外を写生 する	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
2 学 期	校内または校外写生	透明水彩で学校内または屋外を写生 する	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	20
	ペーパークラフト	ハサミ・カッター・定規等を使用 し、ペーパークラフトの技術を身に 付ける	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
3 学 期	ペーパークラフト	立体カードを制作する	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16
							合計 70